

製品安全データシート MSDS

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名 : ラミネートフィルム 彩えんぴ つや かすみ
販売元 : 日本加飾株式会社
住所 : 〒340-0035 埼玉県草加市西町1257-3
担当部門 : ラミネート事業部
連絡先 TEL : 048-924-0761
FAX : 048-924-0762

【2. 物質の特定】

成状 : ポリ塩化ビニル樹脂の組成成分からなる粘着フィルム(離型フィルム付き)
成分 : 基材 : ポリ塩化ビニル樹脂、可塑剤、安定剤 厚さ70 μ m
粘着剤層 : アクリル酸エステル共重合体 厚さ30 μ m
離型フィルム : ポリエチレンテレフタレート 厚さ38 μ m

含有する法規制対象物質の名称および含有量

- ① 特定化学物質の環境への排出量の把握等管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法) 第14条に係わる情報提供義務物質。
- ② 労働安全衛生法 第57条2項に係わる通知義務物質。

CAS番号	物質名	PRTR法区分・番号	安全法番号	含有量(%)
117-81-7	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	第1種 272	479	9.4

- ・上記含有率は基材(塩化ビニル樹脂フィルム)中での値です。
粘着剤層ならびに離型フィルムを加えた全体の中での含有率は4.9%になります。
- ・粘着剤および離型フィルムには法規制対象物質は含まれておりません。
- ・含有率が1%以上(PRTR法特定第1種指定化学物質については0.1%以上)の成分について記載した。

付記) 法規制との関連について

本品につきましては、【特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進に関する法律(PRTR法:平成11年法律 第160号)】の第2条第5項第1号および同条第6項の要件について定めた【特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令(平成12年政令第138号)】の第5条および第6条の例外規定第1項【事業者の取り扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ粉状又は粒状にならない製品】、ならびに【労働安全衛生法(平成11年法律第45号)】第57条第2項のただし書きに関する【労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の施行について(労働省労働基準局長通達、平成12年基発第162号)】における例外の定義のうちの【ハ:労働者による取り扱いの過程に於いて固体以外の状態にならず、かつ粉状又は粒状にならない製品】にそれぞれ該当するものと考えております。

つきましては、本MSDSは両法に係わるものではないことをご理解くださいますようお願い申し上げます。また、製品の納入ごとのMSDSの提出、ならびに製品および包装等への危険性の表示につきましてはご容赦のほどお願い申し上げます。

参考 法規制対象物質の物理化学的性質ならびに危険有害性情報

【3. 物質名】	フタル酸—ジ—エチルヘキシル (DOP、DEHP)
CAS番号	117-81-7
PRTR法に係わる区分および物質番号	第1種指定化学物質、272
安衛法第57条第2項に係わる物質番号	479

【4. 危険有害性の分類】

分類の名称	本物質は毒性・有害性物質である。
危険性・有害性	フィルム、シートとしては特に危険性、有害性はないが、強熱すると本物質が揮発することがあり、ミスト化して爆発性混合ガスを形成する場合がある。また、本物質の高濃度蒸気は粘膜を刺激し、悪心、嘔吐を催させることがある。

【5. 暴露防止措置】

管理濃度	未定
許容濃度	日本産業衛生が学会(1997年版):未定 ACGIH(1997年版) :TWA 5mg/m ³

【6. 物理/化学的性質】

外観	透明な液体
沸点	290～390℃
蒸気圧	1.2mmHg(200℃)、0.07mmHg(150℃)
揮発性	室温ではきわめて小さい。
融点	—55℃
比重	0.982～0.986(25℃)
溶解度	水に0.4ppm、有機溶剤に可溶

【7. 危険性情報】

引火点	218℃(クリーブラント開放式)
可燃性	あり。
酸化性・反応性	あり。

【8. 有害性情報】

皮膚腐食性	ほとんどなし。
刺激性	皮膚刺激性なし、ウサギに対しては眼刺激性微かにあり。 皮膚刺激 ウサギ 500mg/24H Mild. 眼刺激 ウサギ 500mg/24H Mild.
感作性	人に対しては無感作。
急性毒性	LD50(ラット)経口 30.600mg/kg 人に5g経口投与しても症状はなく、10gでは軽い胃障害と弱い下痢がみられる。
癌原性	IARC発癌性評価 3(人に発癌性のない物質) EPA発癌性評価 B2(人発癌性を示すデータ不十分な物質) ACGIH発癌性評価 A3(動物実験で発癌性が確認された物質)
変異原性	陰性、陽性を示すデータがそれぞれ公表されている。
生殖毒性	知見なし。
その他	日常摂取許容量 ADI 0.6～4mg/kg/day. 最大無作用量 80mg/kg/day(ラット73日投与)

【9. 環境影響情報】

分解性	初濃度9.3ppmの7日後分解率96%、8日後では99% 化審法BODIによる分解率80%、分解性良好
蓄積性	濃縮性がない若しくは低い(通産省の既存科学物質安全点検結果)
魚毒性	ヒメダカ TLm(半数致死濃度) 48時間 10,800ppm.

【11. 応急処置(火災時に生じる燃焼ガスに眼露された場合等の措置)】

目に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗顔し、医師の診断を受ける。
皮膚に触れた場合	直ちに汚染された衣服等を脱ぎ、接触部を多量の水及び石鹼で洗い、医師の診断を受ける。 加熱溶融状態の製品が付着した場合は、速やかに水で冷やし、火傷に対する処置を行う。
吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかみ、うがいをし、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水を飲ませて嘔吐させ、医師の診断を受ける。

【12. 火災時の処置】

消火方法	初期消火は小型粉末消火器または水で消火可能である。着火した場合はまず多量の水を散布して温度が上がらないよう注意し、後で泡消火器などで空気を遮断し消火する。
消火者の保護	防毒マスクを着用すること。

【13. 漏出時の処置】

漏出したものは必ず回収し、環境中に放出してはならない。また、回収した物の処分は専門の産業廃棄物処理業者に委託する。

【14. 取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い	重量物のため、落下させないように扱うこと。
保管	保管場所は火気厳禁とする。35℃以下、湿度85%以下の冷暗所に保管すること。

【15. 暴露防止措置】

管理濃度	知見なし。
許容濃度	知見なし。
設備対策	当フィルムを加熱する場合は、その箇所において局部排気を行うこと。また取り扱い場所付近に手洗い、うがい等の洗面設備を設置することが望ましい。
保護具	呼吸用保護具：加熱作業時はマスクの着用が望ましい。 保護手袋：加熱作業時は火傷などを考慮し、着用が望ましい。 保護眼鏡：加熱作業時は簡易眼鏡の着用が望ましい。 保護衣：加熱作業時は長袖の作業服の着用が望ましい。

物理/化学的性質】

外観	本品の成分中の法規制対象物質の性質については別紙を参照のこと。 フィルムシート状の成形体
沸点	主成分であるポリ塩化ビニル樹脂には沸点はない。
揮発性	加熱より揮発する成分を含んでいる。室温ではほとんど揮発しない。
融点	主成分であるポリ塩化ビニル樹脂には融点はない。
比重	1.2～1.4
溶解度	成形体として水にほとんど溶解しない。

【16. 危険性情報】

着火温度	本品の成分中の法規制対象物質に関する情報は別紙を参照のこと。 主成分であるポリ塩化ビニル樹脂では391℃。本品はこれより低温で着火する可能性がある。
可燃性	あり。
発火性	常温では発火しない。
酸化性	常温では酸化しない。
安定性	通常の手扱いに於いては安定である。

- 【17. 有害性情報】** 本品の成分中の法規制対象物質に関する情報は別紙参照のこと。
- 皮膚腐食性 知見なし。
 - 刺激性 知見なし。
 - 感作性 知見なし。
 - 急性毒性 知見なし。
 - 癌原性 知見なし。
 - 変異原性 知見なし。
 - 生殖毒性 知見なし。
- 【18. 環境影響情報】** 本品の成分中の法規制対象物質に関する情報は別紙参照のこと。
- 分解性 知見なし。
 - 蓄積性 知見なし。
 - 魚毒性 知見なし。
- 【19. 廃棄上の注意】** ポリ塩化ビニル樹脂組成物のため専門の産業廃棄物処理業者に委託処理すること。
埋め立ておよび海洋投棄についてはいずれも規制値が定められているので、それに則って処分すること。
焼却する場合は、本品がポリ塩化ビニル樹脂組成物のため、ダイオキシンの発生防止対策がなされた焼却炉で焼却すること。また、焼却残渣は、そのまま外部に流出せず、専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
- 【20. 輸送上の注意】** 特に法的注意事項はないが環境への放出には注意すること。
- 【21. 適用法令】** 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 【22. 備考】** 記載内容は現時点で入手可能な文献、データに基づいて作製しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性は弊社はいかなる保証も致しかねます。取り扱い上の措置ならびに注意事項は、特に明記したものの他は通常の手続きを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合にはそれに適した安全対策を実施の上でご使用ください。